

新基本方針を考えるワークショップ「大人版」「こども版」について(案)

1. 今回の新基本方針ワークショップの位置づけ

- ・「UDのまちづくり新基本方針」の策定に際し様々な機会を設けて、区民参画で策定することを目指し、区民、事業者、行政の協働による大田区のUDのまちづくりの策定のプロセスの一環として位置付ける。

2. 新基本方針ワークショップの趣旨

- ・UDのまちづくり新基本方針骨子を基に、これから新基本方針を作成するにあたり、区民の視点から、取組みを進めたいことや、各主体が取り組めることを広く伺う機会とする。

3. 大人版ワークショップ

(1) 開催概要

- ・開催時期：6月26日（金）＊1回開催、参加人数：30名予定（5班編成）

(2) 参加者（原則、区民推進会議委員、ヒアリング対象団体以外の区民を予定）

- ・障がい当事者（UDパートナーなど）、障がい者団体。障がい者を受け入れている就労事業者、社会福祉協議会、学校関係（専門学校など）、子育て応援コーナー運営委員、高齢者（シニアクラブ連合会など）、介護関連団体や事業者団体、国際交流員、区民推進会議公募委員の応募者で選外の人や元公募委員の人など。
- ・学識経験者（川内先生、松田先生）

(3) ワークショップの進め方（全2時間30分）

【前半】：UDのまちづくり、新基本方針の骨子について説明し、川内先生から「UDのまちづくりの説明・障害の社会モデル・合理的配慮」についてのミニ講演を行い、意見交換のテーマについて共有する。

【後半】：新基本方針に記載すること、UDのまちづくりに関わる施策やアクションプランに取上げてほしいこと、自分（所属組織）で出来ること等、自らの生活や社会との関わりに根ざして自由に意見交換し、各班の進行役から発表する。

4. こども版ワークショップ

(1) 開催概要

- ・開催時期：夏休み期間中に、小学校の「わくわくスクール」として1回開催。

(2) 参加者

- ・受け入れ可能な小学校の4・5・6年生、参加人数：30名予定。（5班編成）

(3) ワークショップの進め方（全2時間）

【前半】：UDのまちづくりの現場を見る（校舎や近くの児童公園、移動中の道路）

- ・現場を見ると意見が出やすくなる。酷暑に配慮（短時間、日陰、水分補給など）

【後半】：会場に帰り、“もっとこうなっていれば使いやすいこと”或いは“不便や困っていること”、反対に“とても使いやすいところ”などで気づいたこと、その他公共交通機関、お店などのUD整備やソフト面に関して気づいたことを書き出し整理する。

- ・最後に川内先生から、トイレのUDと社会モデルについてのミニ講演をいただく。